公益信託経団連自然保護基金　2023年度以降の助成プログラムの募集メニュー概要

<table>
<tr><th colspan="2">募集メニュー</th><th>はじめて助成</th><th>後発開発途上国NGOを対象とした助成</th><th>標準事業助成</th><th>協働事業助成</th></tr>
<tr><td colspan="2">目的・特長</td><td colspan="2">生物多様性保全の取り組みの担い手のすそ野を広げることを主目的とした助成。申請書、報告書はできるだけ簡素化して、申請団体の負担を軽減する。</td><td>これまでの助成方式・規模を踏襲したもの。初期段階にあるプロジェクトや新たな取組にチャレンジするものも含めた助成。</td><td>3年間、規模の大きい助成を行うもの。行政や地域社会、企業等とも連携した他の団体の範となるものを特に支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">団体要件</td><td>■これまでにＫＮＣＦからの助成実績がない団体</td><td>■「後発開発途上国」における草の根の団体</td><td rowspan="2">■助成対象事業の実施状況および予算・決算などの財政状況について、当基金の求めに応じて適正な報告のできる団体
■法人格を有する団体、又は、これと同程度に社会的な信頼を得ている任意団体
■３年以上の自然保護活動の実績がある団体</td><td>■複数団体による協働実施プロジェクトであること（２団体以上）</td></tr>
<tr><td>標準事業助成で求められる右記の要件は適用しない</td><td>標準事業助成で求められる右記の要件は適用しない</td><td>■助成対象事業の実施状況および予算・決算などの財政状況について、当基金の求めに応じて適正な報告のできる団体
■法人格を有する団体、又は、これと同程度に社会的な信頼を得ている任意団体
■３年以上の自然保護活動の実績がある団体</td></tr>
<tr><td rowspan="2">活動地域</td><td>日本国内</td><td>◎</td><td>―</td><td>◎</td><td>―</td></tr>
<tr><td>海外</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">助成対象活動</td><td colspan="4">昆明・モントリオール生物多様性枠組（ＧＢＦ）の実現に資するもの</td></tr>
<tr><td colspan="4">①生物多様性保全にかかわる取り組み、②そのための社会課題解決や、SDGs実現に貢献する取り組み、③人材育成（環境教育）取り組み</td></tr>
<tr><td colspan="2">年間助成額</td><td colspan="2">100万円以下</td><td>1000万円以下</td><td>2000万円以下</td></tr>
</table>

募集メニュー	はじめて助成	後発開発途上国NGOを対象とした助成	標準事業助成	協働事業助成
助成期間	単年度助成を基本とするが、継続申請は3年まで可とする。	単年度助成を基本とするが、継続申請は3年まで可とする。	継続申請は3年まで可とする。	3年間のプロジェクトへの助成。但し、運営委員会で進捗内容・状況等が不適格と認定された場合は助成期間途中であっても助成を止める。